



発行所 魚津市田方町80番地 魚津市役所 秘書課 編輯兼発行人 清河七良

魚津市荒町 小浜印刷所

特報二号

昭和二十七年度の 農林業に対する市の助成金

1. 食糧増産費	一、九八二、六〇〇円
2. 果樹園芸振興費	六二七、〇〇〇円
3. 畜産奨励費	四六〇、〇〇〇円
4. 林業振興費	四六九、〇〇〇円
5. 土地改良費	一、〇三六、一〇〇円
合計	四、五七四、七〇〇円

魚津市は

過去一ヶ年に何を計画し

何をなしたでしようか

御承知の通り魚津市は昨年四月、旧魚津区域の一町一ヶ村が相より、相和して出来上がった面積二〇〇平方キロという広大な地域と、天然の大資源に恵まれた全国でもめずらしい都市であり、それだけに何か立派に育て上げなければならないという熱望と希望とに全市民が皆燃え上がっている新興都市であります。そういうわけで建設の構想は非常に大きく持つておるのですが、只今計画の中のものとして既に実施している事柄について、要点だけを申し述べたいと思つてます。

魚津市建設審議会

各界各地区の有力者や有識者を集めて各部会を作り、専門的に案を立て、どの様にして行けば市の建設が出来るかと相談する事にしてあります。

都市計画

一日も早く立派な市とするために、企画係の方で調査や測量を進めています。

道路網の整備拡充

国道八号線をもととして縦横に道路網をととのえる外に中央幹線や林道網光をかねた山手地帯の横断道路を作り全市を一円とした環状線道路としたい。

市街地区(旧魚津町地区を中心とする)工場地区(国鉄沿線の下中島、道下、経田、加積地区)住宅地区(下野方、加積地区の丘陵地帯)農林地区(其の他の地区)を設けてそれぞれの発展に力を入れる。

上水道

工費一億五千七百万円をもつて工事中であります。今年中には一部給水の運びになる予定で、この時には豊富にしてやすい飲料水や、工場用水をくばる事が出来るだけでなく、防火施設としても申分があります。山手地帯の方には簡易水道を作つて皆さんが便利できれいな水を飲む様にしたい。

産業を盛にして市民の生活を豊にする

大半以上を占める農林業は市の産業経済に最も大切なもので、この方面の助成や育成については充分の注意をはらい、特に山地緑化、果樹、園芸、畜産等に力を入れ農林産物加工工場や販路組織の機関を作つて心配のない様にしたい。

農林業

水産業

魚津浦の定置網漁業を始めとし、沿岸漁業は年々活発な活動をして、その漁獲高を挙げています。近頃北海道方面に進出する出漁船の数は十九隻にのぼり、実に富山県全体の二分の一を占めると共に、七〇〇名の出漁者を出し一億二千万円以上の収入を得て魚津漁民の幸福を挙げています。

商工業

豊富な電源と東最大級の交通の要地に併せて広い地区と農地改革によるあまつた人的資源など、恵まれた立地条件によつて関西、関東の有力方面に昨秋より働きかけ工場の誘致に努力する一方、既設工場の便利を図り之等の拡張(二十七年年度日本カーバイド工場の全閉式二万キログラム電気設備費六億円、二十八年年度吉田工業のフラスコ一貫作業工程の工場拡張面積三千坪、小坂機業場糸綿布工場の拡張面積四千五百坪)に協力して市の重要な財源としておるのです。又この様に工業がさかになる事によつて失業対策をも解決する事が出来るのです。

教育の機会均等

学区制の再検討、再編成をして市街地区、農村地区の学業差をなくし、それぞれに教育施設を充実する。

学校教育

校舎の増築、運動場の拡張や施設の充実をする。二十八年年度から順次に全市の各学校の増築を続ける計画で、目下下中島地区に於て四千坪の校地を買収して一校新設の計画を進めており、真に都市としての環境の下で子供達が楽しく勉強出来る様にする。新制中学については各家庭の事情に応じて通学区域をもうけ希望の学校に行つてもよい。

社会教育

市立魚津図書館を新築拡張して今やつてを巡回文庫をよくし、月一回巡回上映しているナトー映画の回数を多くして市民の修養や娯楽の機関とする。一方公民館の充実をして各種団体の活発な活動や教養を修める機関とする。

博物館

水族館、埋没林を中心とした博物館を建設して学術や観光の施設とすると同時に、公会堂を併用して真に新市にふさわしい文化の殿堂とする。

治安の維持

警察

自治警察を廃し国家警察によつて治安を保持し市費の負担を軽くし然も内容の充実をお願いして既に定員四十一名を定員五十一名に増加してもらい各地区には従来通り駐在所を置くと共にパトロールカー(無線電話器をもつ自動車)や外に三台の機動力をいつも置いて全きを期している。

消防

旧町村にあつた単位消防団を解散して魚津市消防団を結成、各地区には分団を置き命令指揮系統を統一して常備消防といつても充分な連絡をとり又器材の整備をはかりたやすく活動出来る様に努力している。

防災

四つの中小河川を抱えている魚津市としては水害は最も気をつけねばならないことなので各河川の改修をすると共に沿岸地区住民で魚津市水防団を結成して有事の際にそなえる。

活潑な土木事業

一 災害復旧から改修へ 道路網の整備は都市計画と併用して進める。河川の改修は昨年の七月大水害にありやいなや、いち早く災害を未然に防ぐ計画をたて、強力な魚津市という背景のもとで陳情に宣伝に猛烈な運動をしたため政府は改修の必要を認め二十七年度より三ヶ年計画で布施川、片貝川、角川の改修工事に着手しており、この完成は近い将来のことであつて山間地帯の溪谷になされる砂防工事と共に将来の水災から免れることが出来る様になつたのは魚津市という強力な政治の力のおかげである。

農林土木

耕地の復旧、農道の新設拡張、用排水路の改修整備等土地改良事業の促進を計つておるが特に農営事業としての片貝川合口用水事業は一億五千万円をもつて今工事が進められ、又早月川合口用水事業は二十八年度より五億四千万円をもつて農営事業として実施される事になつており、この二つの事業が出来上がった時は魚津市の農業用水の便利と食料増産に非常なよい結果を生む事は明らかである。一方水害による耕地の復旧は市が事業主体となつて工費総額一億八千万円(大部分国の補助)をもつてこれ又二十七年年度から三ヶ年継続事業として完成の予定で着々進んでおり、西布施地区布施川に於ける耕地整理事業もその一部であります。尚林道の開発によつて山の緑化と森林資源の蓄積をすすめる、又治山治水の砂防工事も次々計画されている。

電信電話の充実整備

広い土地でありますので既に電信電話整備拡充委員会を設けて強く関係官庁に働きかけて本当に文化生活を営む事が出来る様にしたい。

富山一魚津間の電話ケーブル五十四回線

暮の十二月から工事にかり工費六千五百万円本年三月竣工予定であります。富山一魚津間の市外通話に十分かつたのが僅か数分間で用をたすことが出来る。

電話

お寺. 風俗. 習慣. 人情. 教育. 交通. 通信

東布施村

魚津市

進

躍

大魚津市建設

道路網の充実と共に各地区各部落毎に公設電話を設けて市内と通話する。有線放送 各支所(旧役場)毎に有線放送設備をして支所より直ちに拡声器をもつて各部落に放送出来る様にしたい。(二面に続く)

電源地下資源の積極的開発

資源の開発

水力、地下、山林資源を開発して鉱工業林業の発展を計画する。

電 源

魚津市内には今発電所が四ヶ所、現に工事中の東電工自家発電所(工事約八億円)は本年四月通水の予定で、魚津市の重要資源となつていますが、工場の拡張誘致によつて更に布施川、片貝川、角川、小早月川の開発を計画しています。

地 下 資 源

松倉、片貝、西布施、東布施を通じて山手地帯の地下資源の精密調査をやり鉱工業をさかんにする。

港湾の整備

魚津漁港はこの地方の産業の極めて大切な事から既に昭和二十五年商港として指定港湾の許可を受けてお

田園都市の建設

強力な自治体により

住民の福利をはかる

東布施村に対してどの様なことを考えているか

村役場の廃止に伴う市の行政事務について

現在市の行政事務は旧町村を区域として支所を置き今迄行われてきた住民と直接関係の深い行政事務、例へば戸籍、住民登録、配給、土地、家屋の事務、農業委員会事務、選挙事務等は支所で処理してゆくので住民への影響は従来と変わりません。然し林務、畜産、土地改良等の農林事業、河川、道路、都市計画等の土木事業、観光事業、衛生事業、生活保護事業等市の全域に關係のある事務は本庁でそれぞれの専門的な立場から能率的に然も効果的に地区住民の意思を尊重してこれらの事務を処理する。

市政に村の意思の反映

村議会はなくなるが市内の各旧町村地区には町村議会議員をもつて組織する市勢振興委員会を設けておきますが之と同様に東布施村議会議員をもつて東布施地区市勢振興委員会を設けて東布施地区の諸問題については常に地元との互論が市政に反映することになり何等の不安がない。

りまして、昭和二十六年より二十七年に亘り工費三千七百九十七万円をもつて整備中でありましたが、更に二十八年、二十九年の両年度には浚渫、突堤の嵩上げ、幅員拡張、船揚場、上屋、起重機、水路工事等の新設拡張をなすことに決定しております。このため運輸交通が便利となり工場誘致の都合がよくなり、商工業の振興を一層大きなものになります。

福祉厚生

文化施設をよくすると共に市民の福利厚生を考慮するに努むるが都市とする。

社会福祉施設

市営住宅(二十七年十戸建設竣工、工費三八〇万円)保育所(現在三ヶ所、二十七年事業として更に一ヶ所建設中工費約六〇〇万円)母子寮(現在一ヶ所二十七年事業として更に一ヶ所工費約七〇〇万円を建設する)授産所計画中。

衛生施設

市の中央に一大総合病院を建設し医療施設を完備する。山手地区の医師のない処には診療所(現在片貝、松倉に二ヶ所西布施に三ヶ所)に開設予定)を作つて医療施設を充実する。

観 光

天下の奇観蟹気楼やホタルイカや天然記念物埋没林の外に山岳地帯の自然美を背景にして観光の施設をなし天下に紹介する。

水族館

昭和二十九年富山博覧会第二会場は魚津市と決定されておりますのでこれを機会に大規模な水族館の復旧建設をする。

公 園

じゆん環道路を作り山間地の自然美を中心とした公園を作る。

国鉄魚津駅の改装

昨年の夏、新市発展は先づ市の支脚国鉄魚津駅の改装からといち早く促進委員会を結成之が実現に努力した結果、工費約一千万円をもつて二十八年に改装方決定、同駅を中心とした都市計画を一諸に実施することになつてゐる。

なぜ東布施村に合併をすゝめるのでしよう

東布施村としての問題

国は地方自治の力を強くし地方行政の最も効果的な運営を保障して、市町村住民の福利増進を図るために市町村の規模を適當なものにして、強力な自治体を作り上げることが大層重要であるので、市町村の合併を積極的に強く進める方法が考えられまして、本年の一月に町村合併促進に関する法律案が出来たので、この法律案によりまして、将来の町村の大きさはおむね面積三〇平方程度で、人口は八千程度を標準として、これに達しない町村は他の町村に協力を求めた適當なものにする様に努力しなければならぬことになつてゐます。

魚津市としての問題

昨年三月魚津市合併問題が論議された時に他の町村の八分通りが合併の議決を見ても尚西布施村がその態度を決定しなかつた合併の第一希望条件として東布施村を出来るだけ早く魚津市に合併させてもらいたいといふに、遂に布施川、黒沢、大沢等落の選出議員を除いて合併に賛成の議決を見たのですが、その際西布施村の希望については全力を挙げてその実現に努力したいと約束したので魚津市としては東布施村の合併が出来るといふ事は直ちに魚津市に影響するところが大層大でありまして、魚津市当局の信義が果してあるかどうかと疑がわれる様な事にもなりません。尚魚津市と東布施村とは風俗、習慣、人情はもとよりのこと経済や宗教、教育、交通、通信等極めて深い關係にありまして現に東布施村の戸数四百六十戸の内安成寺、心蓮坊、光字坊等の寺院とのつながりは、四百戸以上つており特に、西布施地区との因縁は遠くは徳川時代にかさかさり、明治になつてからも布施川村や小川寺村に戸長役場を置き、行政の区分を一つに所謂郷土民話として香りの高い「布施谷節」を生み出す等深い繋がりによつて結びつて現在に至つておるものと見られます。戦後教育制度が変はり昭和二十二年には東布施村と西布施村とで組合立布施中学校を設け同じ川をはさんで布施の谷の生活をするなど教育的にも地理的にも離れんとして離れる事の出来ない事情の下にあるのであります。

結 論

魚津市は市制を布いてから健康な歩みをつけて茲に丸一年新市建設の大きな理想のもとに着々とその効果を挙げてをります実績にかえり見まして東布施村と魚津市との間柄は地理的環境や人情習慣を同じくする因果關係によつて結びつてゐる事を思ひます。東布施村が魚津市に合併して同じ行政区劃のもとで相共に手をにぎり合つて当地方の発展の爲につくす事がひいては、お互の住民の最大の幸福であるという固い確信の下になつて一日も早く魚津市と合併する日の早く来る事を願ひしておすめするものであります。

中陳一蛇田間市道の改修内容

左岸側(西布施) 長さ八八〇米のところ全線中員三、六米に拡張し途中四所の待避所を設ける
中陳橋 各待避所に二本づつ増けたをなし上部は厚さ九厘の新規敷板張に張りかえ高欄も新しくする。
右岸側(中 陳) 中陳橋と東道橋平石田線間の道路は中員三、六米に取替ける。

布施川の改修について

布施川は昨年七月一日の災害後魚津市の猛運動がきき左岸、黒沢、小川寺右岸等破一中陳間の四五〇〇米区域が工費約一億円で四ヶ年継続事業として実施されることに決定してゐる。

教育施設の拡充強化について

組合立布施中学校について増築
組合立布施中学校は本年度内に百万円の起債をもつて四教室を増築するが更に引續いて特別教室その他の施設についてその充実強化を図る具体的な計画を立てらる。

小学校について

現在ある尾山小学校及び田畑小学校をその儘存置すると共に田畑小学校嘉例沢分校を新築して冬期分教場として開設する。

土地改良事業の促進について

土地改良事業の促進は市の農業をさかんにする大切な事業であるので現在市の全域に亘つて土地改良事業を促進してをる現状で東布施村に対しても早く適當な方法をたてる。
林務畜産事業の促進について
東布施村や片貝地区、上野方地区、松倉地区をまと

道路交通の開發

東布施村より魚津市の中心地区に通ずる道路の開設は将来最も必要な施設であるが差当り東布施村の中陳より西布施蛇田に通ずる道路は二十八年度予算をもつて改修し道路の巾員の拡張橋梁の補強等をしバスの開通が速やかに実現する様出来るだけの努力をする。

診療所の開設について

松倉地区、片貝地区、西布施地区同様診療所を新設する。

地下資源の開發

東布施地区内に埋蔵されておる老大な大理石や石灰の資源を有効適切に開發してこれを以て有力工場を誘致して産業や経済力の伸展を図る。

農村電化の促進について

農村の豊かになる事が最も大切なこととされてゐる。時市は農家経営の合理化のため農村電化の促進を強くおしすすめる。